

浜松市沿岸域防潮堤整備の状況

三者基本合意(平成24年6月11日)



三者基本合意のポイント

一条工務店グループは、県に対し浜松市沿岸域の防潮堤整備の費用として300億円を寄付
 県はできるだけ早い時期に着工し、完成させる。工事対象区間は浜名湖入り口東岸から天竜川西岸までの約17.5km
 県は馬込川河口部に必要な津波対策を迅速に行う
 浜松市は防潮堤整備に必要な土砂を確保する。県と連携・協力し、理解促進のための住民・各種団体への説明を行う



海岸防災林の伐採



防潮堤の築造



築堤完成

2

静岡県第4次地震被害想定

2

<経緯>

- 昭和51年 東海地震説の発表(8月)
- 昭和53年 第1次地震被害想定(安政東海痕跡TP+6.0m)
- 平成5年 第2次地震被害想定
- 平成7年 阪神・淡路大震災(1月17日)
- 平成13年 第3次地震被害想定(5月)
- 平成23年 東日本大震災(3月11日)
- 平成25年 第4次地震被害想定(6月)

3 浜松市沿岸域の防潮堤整備の考え方 3

本県特有の課題

【津波に対する課題】

- ① 津波の到達時間が短い
- ② 多くの人口、資産を抱える低平地では**広範囲に甚大な浸水被害**が想定される

地域住民の合意など条件が整った地域では、既存の防災林、砂丘、道路の嵩上げ・補強等による安全度の向上策「**静岡モデル**」の整備を推進

【遠州灘沿岸の地域特性】

- ・天竜川由来の**広い砂丘と海岸防災林**が海岸線沿いに存在している
- ・篤志家および浜松商工会議所からの寄付金
- ・標高の低い沖積平野の低平地に**人口・資産・主要な交通が集中**している



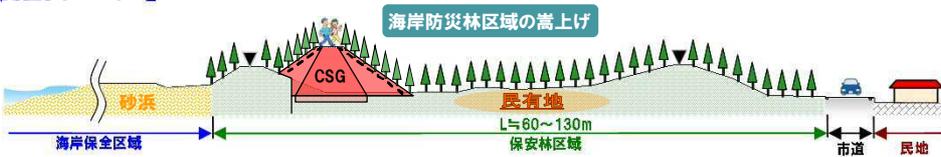
浜松市では、**寄付金により海岸防災林を嵩上げ、他の地域に先駆けたレベル1津波高を上回る防潮堤の整備**を推進

4 新たな施工技術への挑戦 4

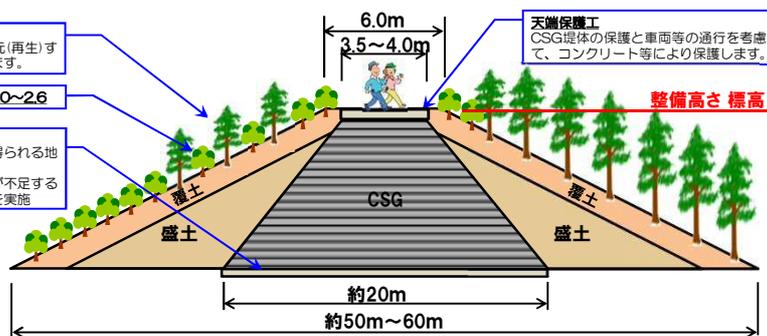
沿岸域の海岸防災林内の防潮堤整備に適用性が高い「土堤+CSG」

※CSGは良質な土砂にセメントを加え固めたものです。

【横断イメージ】



【CSG (Cemented Sand and Gravel) 工法】



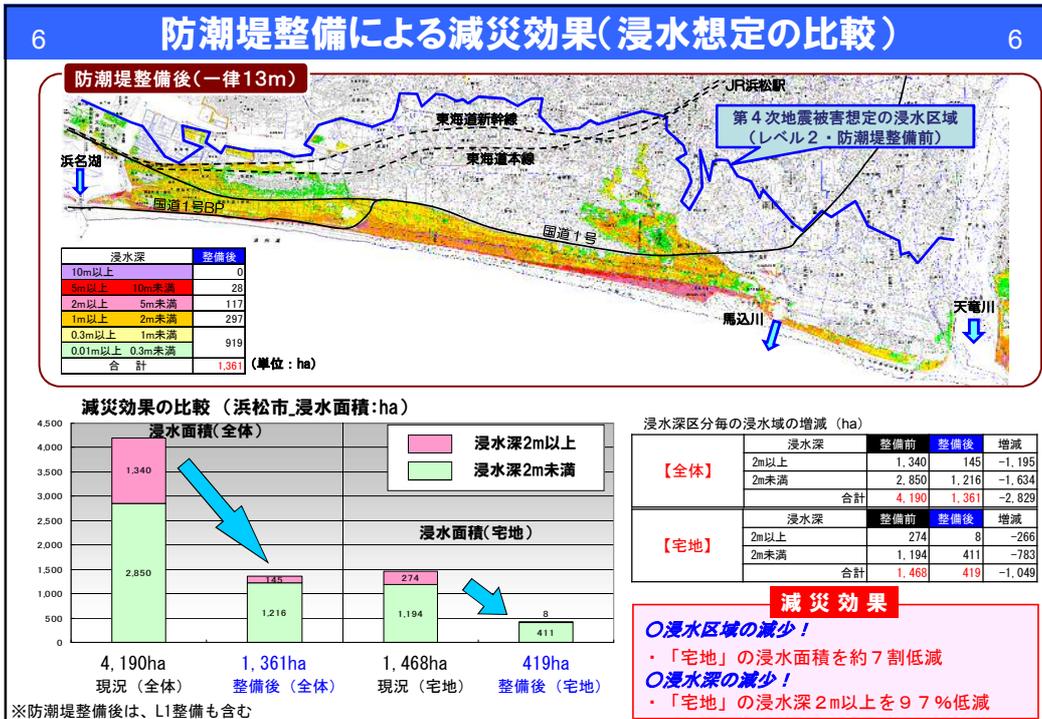
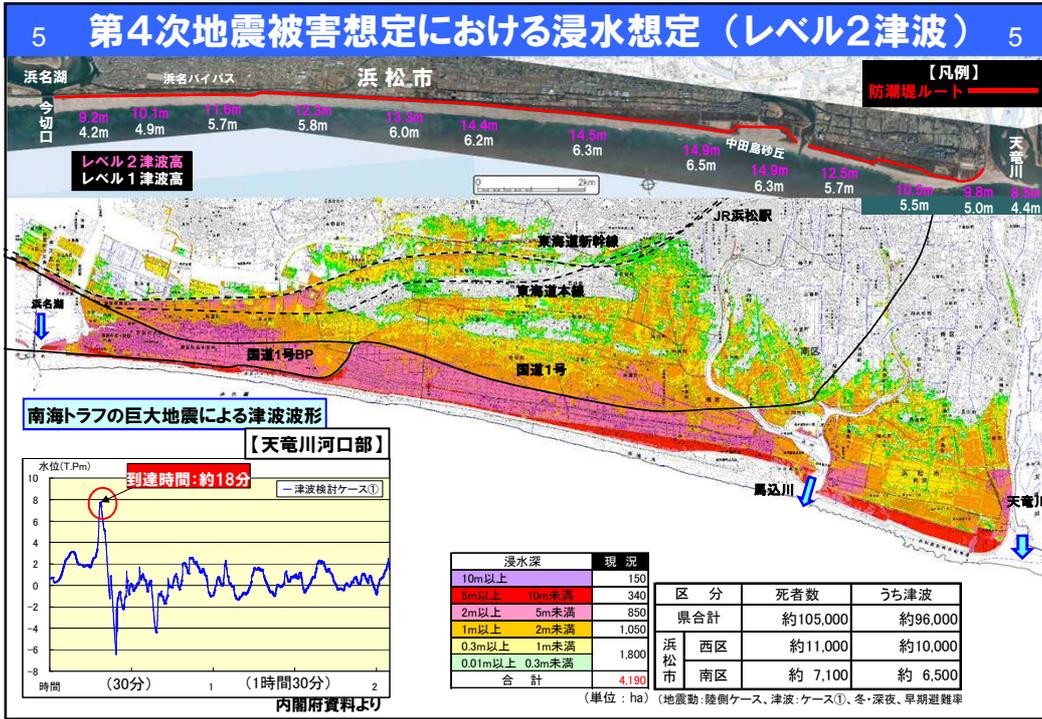
表面被覆
防災林機能を復元(再生)するために植栽します。

盛土勾配 1:2.0~2.6

CSG基礎
所定の支持力が得られる地盤に設置します。
※地盤の支持力が不足する場合は地盤改良を実施

天端保護工
CSG堤体の保護と車両等の通行を考慮して、コンクリート等により保護します。

整備高さ 標高13m程度



7 平成26・27年度の防潮堤整備内容(篠原工区CSG製造工) 7

- 平成26年6月よりCSGプラントの造成を開始し、9月4日よりCSG製造を開始しました。引続き、平成28年3月頃まで製造を行う予定です。
- 完成したCSGプラントは、1日に最大で2,800m³の製造能力があり、日本で最大級のプラントになります。

CSG製造工

8 平成26・27年度の防潮堤整備内容(篠原工区本体施工) 8

- 本体施工の各工区においては、順次、平成26年7月より基礎掘削工、9月4日より築堤を開始しました。
- 1工区の約1kmの区間は、7月末までに築堤が完了しました。引続き、工事を進め、平成28年3月頃までに約5km区間の築堤を完了する予定です。

本体工3工区

本体工2工区

本体工1工区

9 平成27年度の防潮堤整備内容(五島工区CSG製造工・本体施工) 9

- 五島工区CSG製造工は、平成27年8月末にCSGを製造するプラントが完成し、現在は10月下旬からの本格的な製造に向け、試験運転を行っています。
- 五島1工区においては、平成27年4月より事前測量、基礎掘削工を開始し、現在は10月下旬からの築堤に向け、地盤改良工を行っています。

【凡例】

- 防波堤ルート
- 試験施工
- 本体施工
- 製造工(プラント)

事業延長 17.5 km

浜名湖 今切口 浜松市 馬込川 中田島砂丘 天竜川

試験施工その2 (L=0.47km)

試験施工その1 (L=0.25km)

五島1工区

五島CSG製造工

10 平成26・27年度の防潮堤整備内容 10

- 平成26年度から整備中の5km区間は、今年度も鋭意整備を進めてまいります。
- 平成27年度は、新たに馬込川から天竜川までの区間(五島工区)のうち約2kmにおいて、工事を順次進めて行く予定です。

事業延長 17.5 km

浜名湖 今切口 浜松市 馬込川 中田島砂丘 天竜川

試験施工その2 (L=0.47km)

試験施工その1 (L=0.25km)

平成27~28年度 整備区間 L=0.8km

平成26~27年度 整備区間 L=5km

平成27~28年度 整備区間 L=2km

【凡例】

- 防波堤ルート
- 試験施工
- 本体施工
- 製造工(プラント)

工 区	CSG打設量 (総打設量(予定量))	進捗率 (CSG打設量ベース)	備 考	
試験施工	約5万m ³	100%	平成26年5月完成	
本体施工	篠原工区 本体工1~4	約54万m ³	約76% (平成27年9月23日現在)	施工中
	五島工区	約37万m ³	-	平成27年4月から一部施工中
	舞阪工区	約60万m ³	-	平成27年11月から施工予定
全体計画	(約200万m ³)			

11 「オール浜松」で防潮堤の整備を促進 11

社会的影響の大きい大規模な事業であり、浜松市域全体の合意形成を図りながら進めていきます。

事業への市民参加の関係図

防潮堤整備推進協議会
 地元の15連合自治会長で組織し、設計段階から地元自治会が参画
 地元住民への情報提供及び要望・提案・意見の取りまとめを担う

浜松商工会議所との連携
 浜松商工会議所の取組み
 ・「会員1社1日100円寄付」運動の実施
 ・横断幕・募金箱・ロゴマーク等の制作

各種委員会の設置
 地元・民間・学識者・行政で組織する各種検討委員会を設置
 景観、利用、防災、環境、植栽についての提言を防潮堤の計画に反映

積極的広報及び事業PRの充実
 各広報・広聴媒体を駆使し積極的な情報発信と記者提供
 公聴会の開催やアンケートを実施し、民意を把握し防潮堤の計画へ反映

12 今後の整備箇所における課題 12

事業延長 17.5 km

国道1号浜名バイパス区間

課題

- アカウミガメの産卵域調査及び影響軽減策検討
- 国道1号との協議

アカウミガメ(浜松市HPより)

中田島砂丘～馬込川区間

課題

- 貴重な動植物の生息域調査及び影響軽減策検討
- 浜松まつり・中田島砂丘と一体となった利用施設設計

浜松まつり

馬込川～天竜川区間

課題

- 人工池の貴重種等調査及び影響軽減策の検討

人工池